

やまなし農業基本計画 成果指標の進捗状況

- I 農畜水産物のブランド価値の向上
 1 生産・流通・販売の三位一体の高度化
 (1) 高品質・安定生産による競争力の強化
 ア 果樹

No. 1

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
もも「夢みずき」の生産量	t	526	802	1,500
<R5の取組実績> ・高品質なもも「夢みずき」の出荷量を増加させるため、山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議で、各産地の出荷状況及び品質の確認、栽培手引きの見直しなどを実施し、802tの出荷が行われた。				

No. 2

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
ぶどう「甲斐キング」の生産量	t	32	61	120
<R5の取組実績> ・「甲斐キング」の出荷量を増加させるため、山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議で、各産地の出荷状況及び品質の確認、栽培手引きの見直し、摘粒に関する研修などを実施し、61tの出荷が行われた。				

No. 3

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
ぶどう「サンシャインレッド」の生産量	t	0	3.7	100
<R5の取組実績> ・早期産地化を目指して、苗木2,107本を供給した。R2年の供給開始から供給した苗木は累計1万4千本以上となり、果実3.7tが市場出荷された。新たな名称として「サンシャインレッド」が商標登録された。(名称の使用はR6年より)				

No. 4

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
優良品種への改植面積(累計)	ha	184	36	200
<R5の取組実績> ・国の改植事業(果樹経営支援対策事業・果樹先導的取組支援事業)や県の改植事業(すもも産地競争力強化支援事業補助金、もも産地競争力強化支援事業補助金)により、36ha分の優良品種への改植が実施された。				

No. 5

成果指標	単位	現況値 (R3)	実績値 (R5)	R8目標値 (R7)
醸造用「甲州」供給量	t	3,836	3,267	4,200
<R5の取組実績> ・醸造用「甲州」の優良系統の苗木生産・供給を行うとともに、生産者が醸造用ぶどうを安定的に生産できるようワイナリーとの長期取引契約を促進しながら、苗木購入や棚の設置・改修を農家に支援した。				

No. 6

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
赤ワイン用「ソワノワール」の苗木供給本数(累計)	本	0	0	10,000
<R5の取組実績> ・R6年の供給開始に向け、県内ワイナリーに対する要望量調査を行うとともに、穂木供給などの準備に取り組んだ。				

イ 野菜

No.7

成果指標	単位	現況値 (R1~4平均)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8平均)
主要野菜の生産額	百万円	6,422	6,775	6,422
<R5の取組実績> ・ 県の主要野菜や地域特産野菜（やまなし野菜）の振興施策策定に向けた取組を実施 有識者による「やまなし野菜」推進会議の開催 2回 首都圏の市場や県内外の小売店、飲食店などに対する「やまなし野菜」の流通実態およびニーズ調査の実施 県内飲食店への地域特産野菜（やはたも、大塚にんじん）のサンプル提供と利用可能性調査の実施 ・ 「やまなし野菜振興計画」の改定（R6年3月） ・ JAグループ山梨や流通関係者と連携した野菜の日PR活動の実施（R5年8月）				

ウ 水稻等

No.8

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
「にじのきらめき」栽培面積	ha	2	7	95
<R5の取組実績> ・ 「にじのきらめき」の早期産地化を図るため、栽培技術マニュアルを作成した。 ・ 「にじのきらめき」の認知度向上に向け、県庁地下食堂における県産米フェアを実施した。				

No.9

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
麦、大豆、加工用米、飼料用米等の 作付面積	ha	368	357	396
<R5の取組実績> ・ 水田農家の所得安定を図るため、小麦、大豆、そば、加工用米の生産拡大に必要な機械整備等について事業採択した。 ※活力ある水田農業支援事業費補助金 4件 ・ 「令和5年度山梨県水田収益力強化ビジョン」を策定、ビジョンに産地交付金の地域メニューを設定し、転換作物の 生産拡大を支援。また、市町村協議会に対し地域水田収益力強化ビジョン策定支援を行い、24市町村でビジョンが 策定。				

エ 花き

No.10

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
ピラミッドアジサイ生産農家戸数	戸	7	8	12
<R5の取組実績> ・ R4年2月に総合農業技術センターから成果発表された有望系統（‘26-5’、‘26-8’）について、R4年度に引き続き、 現地検討を実施した。 ・ ‘26-8’は定植2年目になり株が充実したことで耐倒伏性が確認できたこと、色付きが良好であったことから、有望系 統として生産者から評価を得られた。				

オ 畜産

No.11

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
甲州牛生産頭数（累計）	頭	1,927	580	2,100
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲州牛の生産基盤強化を図るため、畜産農家に対し県立八ヶ岳牧場の活用を推進するとともに、優良な県有牛を売却し、また、畜産酪農技術センターにおいて生産した和牛受精卵を205個売却するとともに受精卵移植技術の活用を推進することで甲州牛の年間生産頭数の増加が図られた。 				

No.12

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
グラスフェッドビーフ生産農家数	戸	0	1	8
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な消費者ニーズに応える赤身肉の開発と高付加価値化を図るため、県内畜産農家においてグラスフェッドビーフ生産のための放牧実証を行うとともに、生産したグラスフェッドビーフの試食会を食肉業者や飲食店関係者、生産者等を対象に開催し、生産への取り組みを普及した。 放牧実証と生産（R5年8月～R6年1月） 試食会（1回）及び県庁地下食堂での提供（R6年2月～3月） 				

カ 水産

No.13

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
「富士の介」の生産量	t	62	52	80
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産技術センターにおける中間種苗の増産体制を構築するため、水産技術センターに水槽、自動給餌器、水車、自動検卵機の整備を行った。 ・富士の介の養殖業者に対し、設備導入に要する経費の支援を行った。 富士の介生産力強化事業費補助金 4社 				

キ 地域特産物

No.14

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
プレミアムティー開発数（累計）	商品	2	4	4
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボトルティーに比べて賞味期限が長く販売計画が立て易い商品として、ボトルティーと同じ原料茶葉を使用した「リーフティー」を新たに試作した。 ・都内でプロモーションイベントを2回開催し、提供したところ高い評価を得た。 番茶フェスティバルへの出展（R5年10月29日松屋銀座） 可不可午餐-南部茶-の開催（R6年2月4日 KAFUKA TOKYO） 				

(2) 先進的技術の導入による生産性の向上

データ農業技術による生産性向上

No. 15, 16

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
シャインマスカット(施設)	t/10a	1.3	2	2.6
きゅうり(施設)	t/10a	16	44	50
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設シャインマスカットでは、高品質多収栽培を実現するため、環境制御システム、電照処理、炭酸ガス施用、炭酸ガスの補給などの技術を実証。R4年度試験の収穫（R5年7月）において、2.0t/10aの収量を達成。 施設きゅうりでは、高度環境制御装置付き高軒高ハウスで、炭酸ガス施用、日射比例灌水、養液栽培等の高品質・多収技術を実証。R5年度に年換算44t/10aの収量を達成。 				

データ農業導入による品質の向上

No. 17, 18, 19

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
秀品率 もも(露地)	%	40	-	45
秀品率 すもも(露地)	%	60	-	65
秀品率 スイートコーン(トンネル)	%	70	-	75
<p><R5の取組実績> (R6年度からの実施)</p>				

スマート農業技術の導入支援数

No.20

成果指標	単位	現況値 (R2~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
スマート農業技術の導入支援数(累計)	戸	155	64	200
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産性の向上が見込まれる先進技術の導入に意欲のある農業者等に対し、「やまなしスマート農業実装事業」により、省力化等の実証に必要なスマート農業機器の導入を、5戸の実施主体に対し支援。(自動除草ロボット1、ブドウ巻きづね処理機2、水稲水管理システム1、炭酸ガス発生装置1) 「やまなし未来農業応援事業」により、59戸のスマート農業機器の導入を支援(農薬散布用ドローン1、天窗自動開閉装置24、環境測定装置20、除草ロボット12、自動灌水装置1、計数機設備1) 				

(3) 農畜水産物等の高付加価値化の推進

No.21

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
4パーミル・イニシアチブ取り組み面積	ha	4,926	5,381	7,300
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者への4パーミル・イニシアチブの取組を普及・啓発するため、果樹・野菜・水稲について現地実証を行った。(実証ほ：果樹16箇所(スモモ、オウトウ、カキ)、野菜2箇所(スイートコーン)、水稲2箇所) 果樹剪定枝の効率的な炭化方法について調査・研究を行い、成果について発表・公表して広く周知を図った。 4パーミル・イニシアチブの取組の拡大を図るため、4パーミル・イニシアチブ推進全国協議会研修会を開催した。(R5年11月15日Web開催、県内外から130人参加) 中央日本四県(静岡、長野、新潟、山梨)連携のもと農業分野における温暖化対策を推進するため、各県担当者による意見交換及び現地検討会を実施した。(R5年8月28日 静岡県掛川市) 全国での温暖化抑制への取組を加速化するため、4パーミル・イニシアチブ全国サミットを開催し、取組の必要性や技術の理解を促した。(R6年2月5日開催、県内外から266人参加) 都市部の小売店での販売促進活動 30店舗 				

畜産課

No. 22, 23

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
アニマルウェルフェアに取り組む農家数 (エフォート認証)	戸	9	13	50
アニマルウェルフェアに取り組む農家数 (アチーブメント認証)	戸	7	9	25
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 先駆的取り組みにより差別化や高付加価値化を図るため、生産者を対象とした認証制度の研修会及びメディアや食品流通関係者、飲食店関係者等を対象にしたプロモーションツアーを開催し、やまなしアニマルウェルフェア認証制度の取り組みとその畜産物に対する理解醸成が図られた。 やまなしアニマルウェルフェア認証制度研修会 (2回) 実需者、メディア等向けツアー (県内) (2回) 				

畜産課、販売・輸出支援課

No.24

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
ニホンジカの処理頭数 (累計)	頭	2,887	1,010	5,484
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ジビエのブランド価値の向上を図るため、ジビエ処理・加工施設整備を推進し、供給量の拡大に寄与した。 整備助成金の交付決定 1件 やまなしジビエの認証施設拡大に向けた取組 相談件数 4件 やまなしジビエPR動画作成、「やまなしジビエフェア」の開催 (R5年11月1日~R6年2月29日) 				

(4) 安全・安心で持続可能な農業の推進

農業技術課

No.25

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8 目標値
有機農業の取り組み面積	ha	247	261	300
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の有機農産物の生産拡大を図るため、有機農業者が栽培技術を共有できる地域普及展示ほを設置した。 有機農業地域普及実証ほ設置 (2箇所) 北杜市明野町 ニンジン 富士河口湖町勝山 レタス (夏まき) 北杜市が取り組む国補事業 (みどりの食料システム戦略「有機農業産地づくり推進」) に対し支援を行った。 富士吉田市および都留市において、新たに有機農業への転換を実施する農業者に対して支援 (みどりの食料システム戦略「有機転換推進事業」) を行った。 有機農業アカデミーの開催 1回【R5年12月 対面及びオンラインによる開催】 				

農業技術課

No.26

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
化学肥料由来の窒素使用量	kg/10a	5.20	5.07	5.00
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 化学肥料及び化学合成農薬の使用を低減させる環境保全型農業の取り組みを進めるため、国補事業「環境保全型農業直接支払制度」を活用し、環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者団体等を支援した。 10市町村 180.3ha (有機111.7ha、交信攪乱剤46.2ha、草生17.6haほか) 交付金額 13,533千円 (国 9,022千円+県 4,511千円) みどりの食料システム法に基づき、環境負荷低減事業活動に取り組む事業者を認定する制度である「みどり認定」の策定にあたって生産者を支援した。 みどり認定者数 2名 化学肥料由来の窒素使用量及び化学合成農薬の使用成分回数について、その達成度を把握するため、肥料・農薬使用実態モニタリングを実施した 11品目、138戸 				

No.27

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
飼料用米の活用量	t	110	110	140
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入原料を使った飼料の使用量を低減し生産コストの削減を図るため、県内畜産農家での飼料用米の活用が可能となるよう需要調査を行うとともに、関係課と連携し飼料米の生産を推進した。 畜産農家と耕種農家のマッチング（1回） 飼料用イネ種子販売の紹介・推進（7回） 				

No.28

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
低魚粉飼料の導入業者数	業者	3	7	7
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産技術センターで選抜育種した低魚粉飼料で高成長する系統のニジマスについて、業者出荷用に稚魚育成を実施した。 ・低魚粉飼料普及に向け、水産技術センターで低魚粉飼料の普及状況や問題点などについて養殖業者へのアンケート調査を実施した。 				

No.29

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
家畜伝染病監視のためのモニタリング検査数（年間）	件	113	113	113
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病の発生予防のため、養豚農家及び養鶏農家を対象としたモニタリング検査を113件実施し、豚熱ワクチン抗体保有状況及び鳥インフルエンザについては全て陰性を確認した。 				

No.30

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
特定家畜伝染病の防疫演習（年間）	回	2	2	2
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定家畜伝染病が万一発生した場合に、適切な初動防疫が行えるようにするため、防疫演習（高病原性鳥インフルエンザ）を2回実施した。 				

No.31

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
飼養衛生管理基準の遵守のための立ち入り検査・指導（年間）	回	2	2	2
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病の発生予防を徹底するため、畜産農家を対象に2回の立ち入り検査を実施し、飼養衛生管理基準の遵守指導等を行った。 				

(5) 品質管理の徹底と効率的な流通体制の構築

No.32

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
果樹の共同選果施設 再編整備地区 (累計)	地区	1	1	2
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い農業づくり総合支援交付金を活用し、塩山・千野・牛奥地区の共選所を統合・再編した「JAフルーツ山梨塩山統合共選所」が竣工し、ぶどう、すももの国内出荷や輸出を開始した。また、やまなし産地生産基盤パワーアップ事業を活用し、「JA南アルプス市西野共選所」において、光センサー選果機を入れ替えて機能を向上させた。 				

(6) 販路拡大と6次産業化の推進

No.33

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
サポートセンターの支援により商品の販売に至った事業者数 (累計)	事業者	14	2	16
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランナー派遣の希望があった3事業者に対し、延べ41回の派遣を行った。 ・サポートセンターの支援を受け、2事業者の商品が販売された。 				

No.34

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
LFP推進事業により利活用した規格外農産物の商品開発数 (累計)	品目	0	0	3
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格外農産物等に係る実態調査を農業者や農業協同組合に対して実施し、規格外農産物の6次産業化への新たな活用に向けた検討を行うための基礎資料が得られた。また、実態調査で得られた結果をもとに、農業関係団体や商工会、金融関係者等を参集し、意見交換会を実施した。 				

(7) 輸出の更なる拡大

No.35

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
県産果実の輸出額	億円	20.7	19.8	35
<p><R5の取組実績></p> <p>新たな輸出先国の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国等との検疫条件の早期設定に向けた国等への要望活動の実施国等への要望活動 (R5年6、7月) 農林水産省の青果物の輸出環境課題に対する要望調査で、従来の要望に加え、インドのブドウを追加し要望ベトナムへ渡航し、政府関係者に早期の輸入解禁に向けた働きかけを実施 (R5年5月) ベトナム大手果実専門店を招聘し、県産果実の輸入解禁へ向けPR (R5年8月) ・輸出品目拡大に向けた市場調査と中長期的な戦略の策定 香港、台湾、シンガポールにおけるマーケティング調査 (R5年10月~) JETROサービスを活用した上記以外の国・地域の調査 (R6年1月~) 戦略の基礎となる方針の作成 (R6年3月末) <p>輸出促進に向けた新たな体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理を徹底した流通体制づくりへの支援 県産果実の輸出に係る意見交換会の開催 (R5年11月24日) 山梨県果実輸出促進協議会幹事会での意見交換 (R5年12月20日) 				

2 戦略的ブランドプロモーションの展開
 (1) 効果的なプロモーションの推進

No.35

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
【再掲】 県産果実の輸出額	億円	20.7	19.8	35
<R5の取組実績> アジア地域を中心としたプロモーション活動の実施 ・SNS等を活用したデジタルプロモーションの実施 9カ国・地域（香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、UAEに、新たにインドネシア、中国、ベトナムを追加）に向けた県公式SNSを運用、週1回程度投稿 ・小売店舗等でのリアルプロモーションの実施 6カ国・地域（香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、UAE）の現地小売店等での販売促進活動を延べ19回実施 現地小売店等での販売促進活動の情報を、県公式SNSで発信（随時）				

No.36

成果指標	単位	現況値 (R3~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数（累計）	件	100,946	630,573	800,000
<R5の取組実績> 国内へのプロモーション活動の実施 ・国内主要市場における情報収集と産地へのフィードバック インフォメーションセンターによる市場流通状況の情報収集及び提供 県産農畜水産物の販売促進に向けた効果的なプロモーションの実施 ・ジビエ やまなしジビエPR動画作成、「やまなしジビエフェア」の開催（R5年11月1日～R6年2月29日） ・富士の介 国際見本市「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」出展（R5年8月23日～25日） 高級料亭等への販路拡大の取り組みへの補助 1社 ・おいしい未来、4パーミル、その他 WEB雑誌への掲載 6回 生産者紹介記事作成 5本 モモ、ブドウ特設サイトの設置 2サイト PR動画の作成、更新 7本 都市部の小売店での販売促進活動 30店舗 生産者団体等と連携した実需者へのトップセールスの実施 ・トップセールス 2回 大阪（モモR5年7月14日） 東京（ブドウR5年8月29日） 生産者団体等による販売促進活動への支援 ・県農畜産物販売強化対策協議会の実施する販促活動を支援				

(2) 「やまなし」ブランドの確立

販売・輸出支援課

No.36

成果指標	単位	現況値 (R3~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
【再掲】県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数(累計)	件	100,946	630,573	800,000
<p><R5の取組実績></p> <p>県産農畜水産物等のブランド力強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おいしい未来へ やまなし」によるブランド価値の向上 <ul style="list-style-type: none"> WEB雑誌への掲載 6回(再掲) 生産者紹介記事 5本(再掲) モモ、ブドウ特設サイトの設置 2サイト(再掲) PR動画作成、更新 7本(再掲) スーパープレミアムブランドの育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ブランドの牽引役となる商品開発への補助 3件(シャインマスカット、甲州地どり、甲斐キング) 4パーミル・イニシアチブ、アニマルウエルフェアの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> WEB雑誌への記事掲載(4パーミル) 2回(一部再掲) PR動画の作成・更新(4パーミル) 2本(一部再掲) 都市部の小売店での販売促進活動 30店舗(再掲) <p>美酒・美食を通じたブランド力強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「富士の介」、「やまなしジビエ」等のプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> 富士の介を「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」でPR(R5年8月23日~25日)(再掲) やまなしジビエPR動画作成、「やまなしジビエフェア」の開催(R5年11月1日~R6年2月29日)(再掲) 県内宿泊施設(1施設)へジビエの個別プロモーション 1回 飲食店等と生産者のマッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> 観光文化・スポーツ部と連携し、グルマン会議における飲食店向け説明会 2回(R5年10月12日、R6年2月8日) 個別マッチングにより宿泊施設2件、飲食店5件と生産者のマッチングを実施 計7件 				

3 明日の農業・農村を担う人財づくり

(1) 新規就農者の確保・定着

No.37

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
新規就農者数(累計)	人	1,273	344	1,400
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 就農支援サポート体制強化の実施 <ul style="list-style-type: none"> やまなし就農ライフサポート事業による本県農業の魅力発信や交流イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 特設サイトの設置、オンライン就農座談会開催 2回(R6年10月、11月) 参加者計98名 バスツアーの実施 2回(R5年11月、12月) 参加者計37名 農業体験の実施 参加者5名 就農支援センターへ就農支援マネージャー2名を配置し、就農相談のワンストップサービスの提供 就農相談会の実施 【県内】4回 【県外】5回 【オンライン】3回 シニア世代就農促進事業による農業技術研修の実施 5コース のべ37名受講 就農定着に向けた支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> やまなしアグリセミナーの実施 研修生29名(13名新規、16名継続) 国の新規就農者育成総合対策の活用による就農支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> 就農準備資金 28名(新規13名、継続15名) 経営開始資金(経営開始型) 87名(新規16名、継続71名) 経営発展支援事業 9名 新規就農者交流会の実施(1月) 親元就農促進支援 25名 果樹王国やまなし就農支援事業による機械整備等への支援 7名 新たな農業継承システムの構築・支援に向けた新規就農者実態調査の実施 				

No.38

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
うち畜産の新規就農者数(累計)	人	52	8	52
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 本県での畜産の新規就農者を確保するため、本県農業に興味ある者に対し情報発信を行い、畜産経営の選択肢があることをアピールできた。 <ul style="list-style-type: none"> 就農希望者への効果的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> オンライン就農座談会(畜産)開催 1回(11月) 				

No.39

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
企業の農業参入数（累計）	社	41	12	50
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の農業参入を推進するため、企業の農業参入セミナーの開催や国が行う農業参入フェア等に出展し、農業参入を考えている企業の相談や、企業の個別訪問を実施したほか、企業の参入に向けた農地の確保・ほ場整備・経営プランの作成支援等を行い、12社の企業が新規参入した。 <p>企業の農業参入の推進 企業訪問の実施 61社（県内31社、県外企業30社、うち新規訪問41社）</p>				

(2) 多様な担い手の育成

No.40

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
女性リーダーの育成数（累計）	人	-	4	16
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的な女性リーダーを育成するため、事業継続と発展に必要なスキルアップや経営者として働きやすい職場づくりなどの農業女子キャリアアップ研修会を5回開催した。 ・県内の主たる4グループに対して、県外優良事例視察研修、加工品開発や販路開拓、マルシェ開催などの女性農業者グループの活動支援を行った。 				

No.41

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
農家等と福祉施設のマッチング件数（累計）	件	244	300	364
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者の労働力確保、障害者の就労支援及び工賃向上のため、農業者と障害者支援施設とのマッチング等の支援を行った結果、56件のマッチング成立の成果が得られた。 ・農福連携商品を広く周知し、販路拡大や6次産業化を図り、農福連携商品の売り上げを向上させるため、次の取り組みを行った。 <p>農福連携商品の販路拡大に取り組む障害者施設に対し、インターネット販売システムの構築や販促品製作等を支援 農福連携商品のブランド化に向けて、4地域にアドバイザーを派遣し、地域の特色を活かした農福連携商品の開発を支援 農福マルシェの開催 3回</p>				

4 農村地域の保全と基盤整備

(1) 担い手への農地の継承と集積・集約化の推進

No. 42, 43

①地域計画の策定による担い手への農地の継承と集積等の推進

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
農地集積率	%	47.0	48.1	55.0
荒廃農地解消面積（累計）	ha	3,068	3,267	3,900 (R5~8)
<p><R5の取組実績> 地域計画の策定による担い手への農地の継承と集積等の推進 ・地域計画の策定に向けて、市町村や農業委員会への助成の他、地域の話し合いへのファシリテーター派遣等を行い、円滑な協議が進んだ（70地区で協議実施）。 ・農地集積を推進するため、農地中間管理機構を活用して、担い手への農地集積に取り組む地域に対し機構集積協力金を交付したことにより、集積率の向上が図られた。（6市町村） ・関係機関と連携した市町村農業委員会が行う農地情報システムの更新、活用支援により、農地中間管理機構を活用した農地貸借促進に向け、システムの円滑な運用が図られた。</p> <p>荒廃農地の発生防止と再生・活用の推進 ・荒廃農地を解消するため、市町村による計画的な解消に合わせ、韮崎市において耕作放棄地等再生整備支援事業を実施し、また北杜市をはじめ10市町において機構借受農地整備事業を実施した他、中央市、南アルプス市、富士川町において企業の農業経営推進支援モデル事業を活用し、荒廃農地の解消が図られた。 ・農地利用の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構を活用した農地の貸借を推進し、R5年度は358.1haの貸付を行った。</p>				

(2) 産地の競争力強化に向けた基盤整備の推進

No.44

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5~8)
果樹産地等における基盤整備面積（累計）	ha	4,702	4,803	5,100
<p><R5の取組実績> ・樹園地等の再編整備を進めるため、畑地帯総合整備事業等により農地の集積・集約化、農作業の省力化・効率化に向けた受益100haの基盤整備を実施し、生産性の向上や農業経営の安定化が図られた。</p>				

(3) 農村地域の保全・活性化

No.45

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
県内農泊の宿泊者数（年間）	人	10,048	12,416	13,440
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山村地域の活性化につながる農泊を推進するため、農泊に取り組む地区（または取り組もうとしている地区）を対象に、企業をターゲットとした、ストレスケア効果がある農作業を組み入れた農泊プログラムの開発への支援等を行い、4モデルツアーを実施した。 ・県内農泊地域間の連携強化やネットワーク化を図るため、農泊事業者・地区の連絡会議を設置した。 				

No.46

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
多面的機能の保安全管理に取り組む面積	ha	7,508	7,518	7,600
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業、農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金を活用し、次の取り組みへの支援を実施し、多面的機能保全と地域活動が図られた。 農道・水路等の地域資源の適切な保安全管理 活動組織、集落協定の共同活動 				

No.47

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
獣害防止柵の整備による農業被害防止面積（累計）	ha	4,882	4,922	5,280
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害を軽減するために獣害防止柵の整備を実施・支援し、新たに40haの農地で被害の軽減が図られた。 				

No.48

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値
野生鳥獣による農作物被害金額（年間）	百万円	140	139	123
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合対策事業により、地域ぐるみの被害防止活動を支援するとともに、簡易電気柵展示圃の設置などを進めた。 鳥獣害防止総合支援対策事業 20市町村協議会 簡易電気柵実証圃 4箇所設置 鳥獣被害対策専門員 3名委嘱 指導員研修の実施（10月24日開催、出席者32名） 集落リーダー研修会の実施 5回（R5月～R6月1月 参加者152名） ・カワウやサギ類の食害対策技術等を開発・普及するとともに、漁業協同組合が行うカワウの被害軽減対策の取り組みを支援した結果、営巣地におけるカワウ個体数の抑制が図られた。 飛来状況調査（県下10定点） 漁協が行う繁殖抑制や追い払いの取り組みへの支援（11漁協） ・外来魚の効率的な駆除及び駆除技術の開発に取り組むとともに、実態調査や啓発活動等を実施した。 コクチバス（琴川ダム） ライトトラップの設置や刺網駆除を実施した結果、成魚の採捕数は減少し、産卵床や稚魚は確認されなかった。 レイクトラウト（本栖湖） 捕獲調査を実施。 				

5 防災・減災対策による農村の強靱化

No.49

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5～8)
耐震対策済の農業用ため池数（累計）	箇所	53	62	73
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震による被害を未然に防止するため、耐震性が不足する防災重点農業用ため池9箇所の耐震対策を実施し、農村地域の強靱化を推進した。 				

No.50

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	R8目標値 (R5～8)
農業用水利施設等の整備済箇所数（累計）	箇所	41	44	53
<p><R5の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨等による自然災害を未然に防止するため、洪水被害や土砂災害等を防止する農業用水利施設3箇所を整備し、農村地域の強靱化を推進した。 				